

2026 年 07 月 01 日作成 Ver.1

《情報公開文書》

脳腫瘍の鑑別診断に関連する APT-CEST MRI パラメータの比較検討

研究の概要

【背景】

脳腫瘍の術前診断では MRI が中心的な役割を果たしており、腫瘍の種類や悪性度を手術前にできるだけ正確に把握することは、治療方針を決定する上で重要です。

通常の MRI では腫瘍の位置、大きさ、造影効果、周囲浮腫などを評価しますが、これらの所見のみでは腫瘍の種類、悪性度、治療後変化と再発の区別などが難しい場合があります。そのため、近年では通常の MRI 画像に加えて、腫瘍内部の性状をより詳しく評価するための MRI 画像解析が行われています。

Amide Proton Transfer-chemical exchange saturation transfer (APT-CEST) MRI は、腫瘍組織内のタンパク質やペプチドなどに関連する信号を画像として評価する MRI 撮像法です。APT-CEST MRI で得られる画像情報は、腫瘍の悪性度、病理診断、腫瘍の増大や再発の評価に役に立つ可能性が報告されています。

長崎大学病院では、脳腫瘍患者さんに対して術前 MRI 検査を行い、手術または生検により病理診断を得てきました。これらの既存の MRI 画像データを再解析し、MRI 画像所見および画像の特徴と病理診断、腫瘍の悪性度、術後経過との関連を検討することで、今後の脳腫瘍診断や経過観察に役立つ画像因子を明らかにできる可能性があります。

【目的】

この研究では APT-CEST MRI の画像を解析し、画像の特徴と病理診断、腫瘍悪性度および臨床経過との関連を明らかにすることです。

【意義】

この研究の結果、APT-CEST MR が脳腫瘍の診断に役立つとわかれば、患者さんに負担の少ない方法で脳腫瘍を調べられるようになる可能性があります。

【方法】

病理診断が得られた脳腫瘍患者さんを対象として、診療録より患者背景、臨床所見、画像所見、手術所見、病理診断および術後経過に関する情報を収集します。

また、既存の術前 APT-CEST MRI 画像を含む MRI 画像を専用の解析ソフトで再解析し、MRI 画像所見および APT 関連パラメータと病理診断、腫瘍の悪性度、術後経過との関連を検討します。

対象となる患者さん	
2020年01月01日～2026年12月31日までの間に長崎大学病院にて施行された開頭腫瘍摘出術あるいは脳腫瘍生検術で原発性脳腫瘍または転移性脳腫瘍と病理診断され、術前にMRI（APT-CEST MRIを含む）を施行された患者さん（年齢、性別は問いません）	
研究に用いる情報	
・ 患者背景：性別、年齢、治療時期 ・ 自覚所見：神経症状の有無、水頭症の有無、その他診療録に記載された症状 ・ 血液検査の結果 ・ 画像検査の結果 ・ 手術・病理所見 ・ 術後1年以降の再発の有無 詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。	
情報の利用開始予定日	
本研究は2026年8月27日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。 あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2028年12月31日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 脳神経外科 氏名：日宇 健 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7375
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 脳神経外科 日宇 健 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7375 FAX 095（819）7378	

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）